

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	あじの郷づくり事業			
予算科目	2 款 1 項 14 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課:	商工観光課	電話番号(内線):	510
記入者情報	所属長:	米湊 誠二	担当責任者:	大谷 基文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】平成27年度			
事業の対象	全市民			
根拠法令等				
事業の目的	食や食材・自然・人など様々な地域資源を活用しながら、地域振興・まちの活性化を図り、人づくり・ものづくりによる持続可能な地域づくりを目指す。			
事業の内容	市民有志からなる『伊予國「あじの郷」づくり実行委員会』と協働し、「食育・食文化の推進」「地産地消の推進」「伊予ブランドの創設」など、『食』をテーマとした地域活性化に向けた取組みを行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	伊予農業高校、松山大学との民公学連携事業の推進と地元特産品と企業のコラボによる商品開発を推進する。あじの郷づくりキャラバン隊による伊予市PRの推進。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	22,145	21,365	0	20,662
	人件費	3,999	3,254	1,627	3,254
	合計	0	24,619	1,627	23,916
人件費 内訳	人工数	0.50	0.40	0.20	0.40
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,999	3,254	1,627	3,254
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	19,146	18,670	0	18,649
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,998	5,949	1,627	5,267

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
運営委員会・実行委員会	回	4	2	1	2
キッズキッチン(食育事業)	回	5	6	1	6
啓発ラジオ放送回数	回	39	0	0	0
あじの郷情報誌発行	回	4	4	3	5

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	13,168	7,000	7,000	7,000	7,000	41,168

成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方					0
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度	
目標	0	0	0	0	
実績	0	0	0	0	

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>市町緊急雇用対策事業による11月までの「あじの郷キャラバン隊」の活動により、伊予市、あじの郷づくり事業、ミカンまるの認知度は高まったと思われる。JALの協力により、松山空港のメンバーラウンジ内で唐川びわ葉茶の提供、観光ポスターの掲示等、伊予市のPR及び特産品等の情報発信ができた。キッズキッチンを6回、7園を対象に実施し、子供の魚及び魚料理に対する興味を高めることができた。また、民公学連携による商品開発も継続して推進していく。来年度は、シティーブランドの構築に向けた取り組みを推進し、伊予市のシティーブランドを活用した啓発、情報発信に努める。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>H24～25にかけて委託により実施した「あじの郷キャラバン隊」の事業展開により、ミカンまるをはじめ、伊豫國「あじの郷」づくり事業の認知度は高まってきたものの、委託契約終了とともに積極的活動ができなくなってきた。今後においてもPR事業や民公学連携事業や生産者と販売事業者等とのマッチング事業も展開しながら、食の情報誌による情報発信を行い、食のブランド化を推進していくべきであろう。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	